

蝶屋授業モデル R6

学習過程	区切り	教師の指導	めざす児童の姿
構え	チャイムスタート	○はじめの挨拶 ●教師が見届ける	「起立（気をつけ）指ピン 今から○限目の授業を始めます 礼 着席」
つかむ	課題をつかむ	○既習との違いに気付かせる ・前時との違いは何か ○思考させる課題をつくる ・～どうして○○になるのかな（理由） ・～するにはどうしたらいいかな（方法） ・～に気をつけて～しよう（観点）	児童の心をつかむ学習課題の設定 
	見直しをもつ	○ゴールをイメージさせる	単元計画の提示 ◎重点1
考える	自己決定をする ◎重点2	○自力解決できる手立て ●自分の考えをもたせる ●既習をもとに考えさせる ●考える視点を提示、選択肢を用意する ●根拠（言葉・文・絵・図・表・実物）に線を引く ●順序だてて分かりやすく自分の考えを書く（ノート指導）	
学び合う		○目的を明確にした交流 ●目的をはっきりさせる 知る、増やす、確かめる、深める、広げる など ●効果的な学習形態を工夫する 全体交流、ペア学習、グループ学習、リー交流など ●質問や感想を伝え合う ●反応しながら聴かせる ●根拠を指し示しながらわけを説明させる	
まとめる	情報の整理	○思考を深めるための発問をする ●学びをつなげる問い返しや深めの発問 「どこ（どの文や言葉）からわかりますか」 「本当にいいのかな？」 「この場合はどうかな？」	獲得した学びを共有する 
	課題のまとめ	○課題に正対したまとめをする ●板書のキーワードを使って自分の言葉で書く ○活用・適用 「この問題でも使えるかな？」 「自分の生活の中でも考えられる場面はあるかな？」	
	ふり返り	○ふり返りをさせる どんな力が身に付いたのかを中心に、ふり返りを書く ●次の学習に生かしたいこと ●わかったこと、考えたこと ●一番大切だと思ったこと	
	チャイムで終わる	○終わりの挨拶をする ●教師が見届ける	「起立（気をつけ）指ピン これで○限目の授業を終わります 礼 着席」

考えたい！
やってみよう！

伝えたいな。
聴きたいな。



どうしてかな？
どこからそう思ったの？



既習・根拠を
もとに考えを
書く・線を引く



この問題でも使えるよ。

今日のキーワードは…

今日わかったことは、
考えが深まったことは、

